



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
コード番号 2464 URL <http://www.bbt757.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

(氏名) 大前 研一
(氏名) 伊藤 泰史

TEL 03-5860-5543

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	902	29.0	93	△13.2	99	2.4	40	△28.1
26年3月期第1四半期	699	10.1	107	92.9	96	124.9	56	131.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 40百万円 (△28.1%) 26年3月期第1四半期 56百万円 (131.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.56	3.52
26年3月期第1四半期	4.95	4.88

(注) 当社は、前連結会計年度において、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,379	3,032	69.2	266.48
26年3月期	4,409	3,076	69.8	268.61

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,031百万円 26年3月期 3,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.20	3.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,794	29.4	96	△41.3	93	△37.5	58	△32.6	5.07
通期	3,725	21.5	254	△0.2	248	△0.0	119	△12.1	10.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	12,669,800 株	26年3月期	12,669,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,292,076 株	26年3月期	1,218,276 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	11,425,224 株	26年3月期1Q	11,445,600 株

(注) 1株当たりの当期純利益の算定の基礎となる株式数については、26ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより回復基調が続くものの、4月の消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費などの一部に弱い動きがみられるなど先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このようななか「世界で活躍できるグローバルリーダーの育成」に向け、グループ全体で幼少期から大学院、ビジネスパーソンまで一気通貫で教育プログラムを提供できる「生涯教育プラットフォーム」の形成に取り組んでまいりました。

文部科学省より設置認可されたビジネス・ブレイクスルー大学(以下、BBT大学)経営学部は、5年目となり期初より全学年、全期に学生が在学する状態でスタートいたしました。BBT大学オープンカレッジを含む各教育プログラムにつきましては、4月の消費税増税による個人の受講申込への影響は限定的なものとなり概ね前年同期並みに推移いたしました。また、法人向け教育サービスにつきましては、前期に受注獲得した大型案件を今期も継続受注するなど堅調に推移いたしました。

一方、前期に連結子会社化した㈱アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズが運営する「アオバジャパン・インターナショナルスクール」では、6月に国際バカロレア(IB)の中等教育プログラム(MYP)の認定候補校となったことで、全教育プログラム(PYP、MYP、DP)の認定候補校になるとともに、国際バカロレア(IB)の認証取得に向けた教育カリキュラムの開発、見直しや教員教育に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は902百万円(前年同四半期比29.0%増)、営業利益は93百万円(同13.2%減)、経常利益は99百万円(同2.5%増)、四半期純利益は40百万円(同28.1%減)となりました。

セグメント区分別の状況につきましては以下のとおりであります。

① マネジメント教育サービス

マネジメント教育サービスの売上高は640百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。BBT大学経営学部が5年目となり期初より全学年、全期に学生が在学する状態でスタートしたこと、また、BBT大学オープンカレッジを含む各教育プログラムにつきましては、4月の消費税増税による個人の受講申込への影響は限定的なものとなり概ね前年同期並みに推移しております。また、法人向け教育サービスにつきましては、前期に受注獲得した大型案件を今期も継続受注するなど、売上高は堅調に推移いたしました。

また、BBT大学において教育カリキュラムの改善に加え、受講の質を高めるため学生をサポートする講師やスタッフを拡充するなど体制強化にも取り組み、セグメント利益は78百万円(同23.7%減)となりました。

② 経営コンテンツメディアサービス

経営コンテンツメディアサービスの売上高は75百万円(前年同四半期比5.0%減)、セグメント利益は42百万円(同25.9%増)となりました。衛星レギュラー視聴の個人消費が落ち込んだものの、卒業生、修了生を対象に、受講したコンテンツの視聴延長や当社サービスを特別価格にて提供する有料会員サービスが順調に推移したことによりセグメント利益に寄与いたしました。

③ インターナショナルスクール

インターナショナルスクールの売上高は177百万円、セグメント損失は25百万円となりました。前第3四半期累計期間に子会社化した㈱アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズが運営する「アオバジャパン・インターナショナルスクール」において、国際バカロレア(IB)の認証取得に向けた教育カリキュラムの開発、見直しや教員教育に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が9百万円及び前払費用が8百万円減少したものの、現金及び預金が23百万円、売掛金が16百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が5百万円及び有形固定資産が36百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に未払費用が31百万円減少したものの、前受金が37百万円及び預り金が11百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益40百万円だったものの、剰余金の配当62百万円及び自己株式の増加21百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおり進捗しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,375,725	1,398,912
売掛金	194,358	210,679
仕掛品	182,885	172,899
貯蔵品	8,403	5,273
前払費用	35,568	26,896
繰延税金資産	9,875	8,232
その他	61,879	57,726
貸倒引当金	△1,282	△68
流動資産合計	1,867,414	1,880,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	643,764	643,887
減価償却累計額	△113,956	△123,980
建物及び構築物(純額)	529,808	519,907
機械装置及び運搬具	80,847	80,847
減価償却累計額	△77,178	△77,476
機械装置及び運搬具(純額)	3,668	3,371
工具、器具及び備品	325,024	320,641
減価償却累計額	△212,169	△214,421
工具、器具及び備品(純額)	112,855	106,220
土地	831,802	831,802
建設仮勘定	62,834	42,900
有形固定資産合計	1,540,970	1,504,201
無形固定資産		
借地権	76,071	76,071
ソフトウェア	168,286	177,997
ソフトウェア仮勘定	26,350	18,500
のれん	557,238	550,132
その他	51,847	51,793
無形固定資産合計	879,794	874,495
投資その他の資産		
投資有価証券	23,194	23,194
差入保証金	61,588	60,988
繰延税金資産	11,037	11,251
その他	25,393	24,713
投資その他の資産合計	121,213	120,147
固定資産合計	2,541,979	2,498,844
資産合計	4,409,394	4,379,396

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,250	1,416
未払金	24,500	10,697
未払費用	310,266	278,976
未払法人税等	38,872	38,737
前受金	908,888	946,886
奨学還付引当金	3,150	3,575
その他	31,633	55,199
流動負債合計	1,321,561	1,335,489
固定負債		
退職給付に係る負債	7,097	7,250
その他	3,809	3,845
固定負債合計	10,907	11,095
負債合計	1,332,468	1,346,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,477,525	1,477,525
資本剰余金	1,125,291	1,125,291
利益剰余金	769,506	747,205
自己株式	△296,278	△318,092
株主資本合計	3,076,044	3,031,929
新株予約権	781	781
少数株主持分	99	99
純資産合計	3,076,925	3,032,810
負債純資産合計	4,409,394	4,379,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	699,500	902,115
売上原価	209,812	381,488
売上総利益	489,687	520,627
販売費及び一般管理費	381,735	426,911
営業利益	107,952	93,715
営業外収益		
受取利息	1,091	1,528
為替差益	-	924
寄付金収入	-	3,000
その他	425	582
営業外収益合計	1,516	6,034
営業外費用		
支払利息	-	198
投資有価証券評価損	500	-
為替差損	12,002	-
固定資産除却損	183	295
支払手数料	-	116
その他	8	-
営業外費用合計	12,694	610
経常利益	96,773	99,140
特別損失		
固定資産除却損	-	22,411
特別損失合計	-	22,411
税金等調整前四半期純利益	96,773	76,728
法人税、住民税及び事業税	37,471	34,616
法人税等調整額	2,695	1,429
法人税等合計	40,166	36,046
少数株主損益調整前四半期純利益	56,606	40,682
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	56,606	40,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,606	40,682
四半期包括利益	56,606	40,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,606	40,682
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジ メント教育 サービス	経営コン テンツメ ディアサ ービス	インター ナショ ナルスク ール	計				
売上高								
外部顧客への売上高	607,997	79,391	—	687,388	12,111	699,500	—	699,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,725	3,858	—	12,583	11,957	24,541	△24,541	—
計	616,723	83,249	—	699,972	24,069	724,042	△24,541	699,500
セグメント利益	103,217	33,809	—	137,026	△29,074	107,952	—	107,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入、賃貸収益及び新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マネジ メント教育 サービス	経営コン テンツメ ディアサ ービス	インター ナショ ナルスク ール	計				
売上高								
外部顧客への売上高	640,888	75,462	177,721	894,073	8,042	902,115	—	902,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,772	3,943	—	10,715	11,531	22,247	△22,247	—
計	647,660	79,406	177,721	904,789	19,574	924,363	△22,247	902,115
セグメント利益	78,744	42,552	△25,351	95,944	△2,228	93,715	—	93,715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版に係る印税収入、賃貸収益及び新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、株式会社アオバイナターナショナルエデュケイショナルシステムズが連結子会社となったことに伴い、報告セグメントに「インターナショナルスクール」を追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。